

かわまちづくり計画の事例紹介について

かわまちづくりの事例紹介

1. 肱川かわまちづくり(愛媛県大洲市)

水郷文化とともに、育ちつづける復興かわまちづくり

平成30年7月豪雨からの復興を肱川かわまちづくりで後押しします

- 大洲市中心部の肱南肱北地区を主要拠点として、かつて「かわ」と「まち」をつなぎ、大洲の発展を支えた「かわみなど」を復活させ、人が集い、自然と文化・歴史にふれあえる水辺空間の創出をめざします



文化歴史ふれあいゾーン(大洲市中心部)における整備イメージ

肱川とともに歩んできた大洲の歴史

古くから洪水に悩まされてきた肱川流域

- 肱川は、数多くの支流と合流し大洲盆地を貫流して伊予灘に注ぐ愛媛県一の大河川です
- 大洲盆地は古くから水害が頻発しており、平成30年7月豪雨では甚大な浸水被害をうけ、再度災害防止等に取り組む「肱川緊急治水対策」を進めています



肱川と寄り添いながら育まれた水郷文化

- 明治から大正にかけて、肱川沿いに大小あわせて40あまりの河港が開け200艘以上の川船が置かれ、ゆるやかな流れの肱川は重要な貨物輸送路となっていました
- 大洲は、江戸時代初期まで港を意味する「津」という文字を用い「大津」と表記されており、「大きな河港(津)」が大洲の地名の由来といわれています
- 市民の想いから戦後初めて当時の工法・木造で天守閣が復元された肱川の河畔に望む「大洲城」、明治の匠が残した数奇に飛んだ建築、日本庭園、借景美を堪能することができる「臥龍山荘」、日本三大鶴飼いの一つに数えられる「鶴飼い」、藩政時代から伝わり今でも秋の風物詩として河原で楽しまれている「いもたき」など独自の文化が育まれてきました



肱川にかつて存在した河港(大洲市誌)



出典:大洲市立博物館所蔵資料

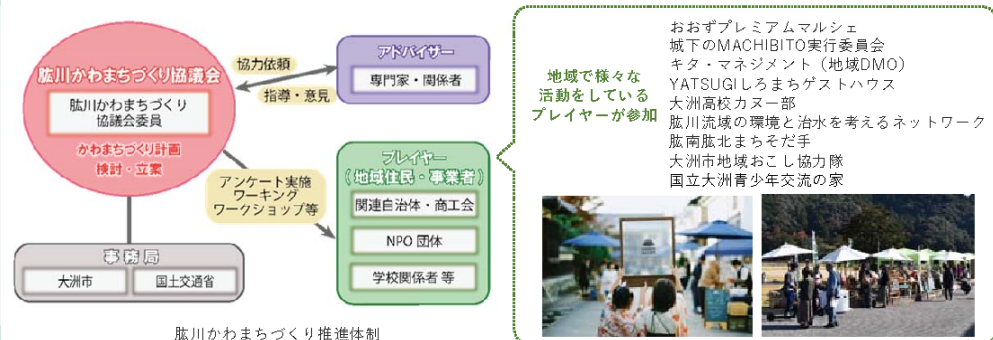


肱川との関わりが深い観光拠点・イベント

地域住民・事業者と共に考えるかわまちづくり

かわまちづくりの主役となる「川を利用したい人・活用したい人」の意見を取り入れます

- 学識経験者、各種団体の代表者等で構成される「肱川かわまちづくり協議会」を設置するとともに、地域で活躍するプレイヤーの意見を取り入れるためにワークショップなどを開催しています



肱川かわまちづくり推進体制

地域で様々な活動をしているプレイヤーが参加
 おおずプレミアムマルシェ 城下のMACHIBITO 実行委員会
 キタ・マネジメント(地域DMO)
 YATSUGIしろまちゲストハウス
 大洲高校カヌー部
 肱川流域の環境と治水を考えるネットワーク
 肱南肱北まちそだ手
 大洲市地域おこし協力隊
 国立大洲青少年交流の家



社会実験で「川床」「オープンデッキ」を設置し、住民・民間事業者からも肱川の利活用への期待が寄せられました

- 令和元年11月16日(土)、17日(日)に大洲市中心部で開かれる「城下のMACHIBITO」にあわせて「川床」「オープンデッキ」を仮設して社会実験を実施しました
- 社会実験箇所の利用者は、2日間で922名(川床292名、オープンデッキ630名)、イベント全体では昨年の1万人を超える1.3万人が来場しました



ワークショップの様子



アンケート結果(抜粋)

- 川を身近に感じることが出来る良い取り組みだと思う。肱川と言えば水害の話になることが多いと思うが、川があることの意味についても知ることができると良い
- とてもゆったりとした時を過ごせた。よく来る川だが、水の上に乗っているなんて不思議だった。水がきれい静かで最高だった
- お客さん、出店者両者とも川辺でのオープンデッキ空間は気持ちの良いものと思うので、河川利用は良いと思う

かわまちづくりの事例紹介

はかわ

2. 波川地区かわまちづくり(高知県のいの町)

○憩いの場所や駐車場などを整備するとともに、周辺の観光施設と連携し、賑わいを創出。



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

かわまちづくりの事例紹介

おおたがわ

もとやすがわ

きょうばしがわ

えんこうがわ

3. 旧太田川・元安川地区及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり(広島県広島市)

○都市・地域再生等利用区域の指定により、河川区域における民間事業者によるオープンカフェを常設。河川敷地の魅力の向上や地域の活性化に寄与。

◎元安川地区

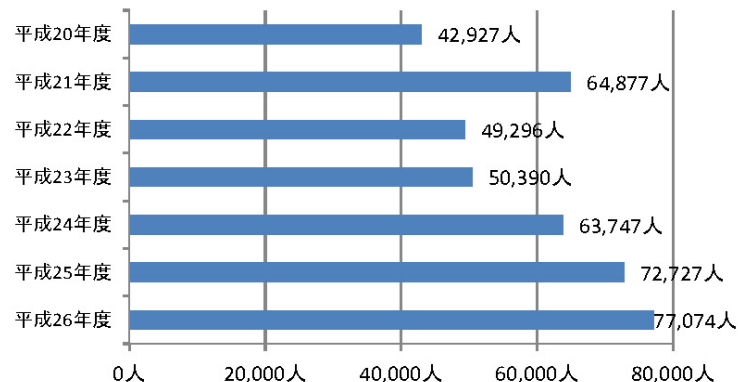
過去の写真



現在の写真



《元安川店舗利用者数》(店舗報告より)



◎京橋川右岸地区

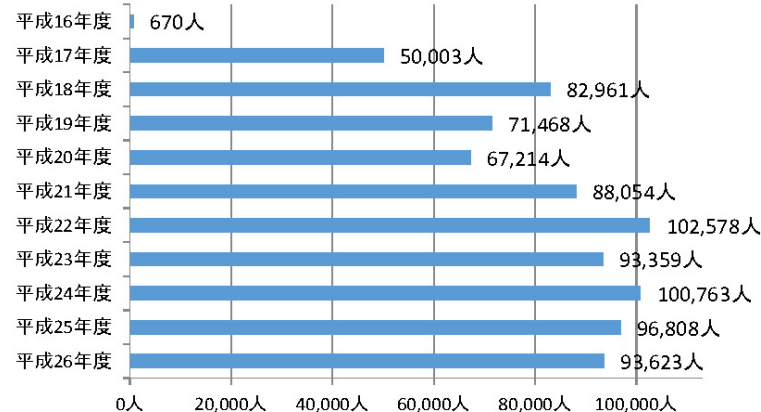
過去の写真



現在の写真



《京橋川 店舗利用者数》(店舗報告より)

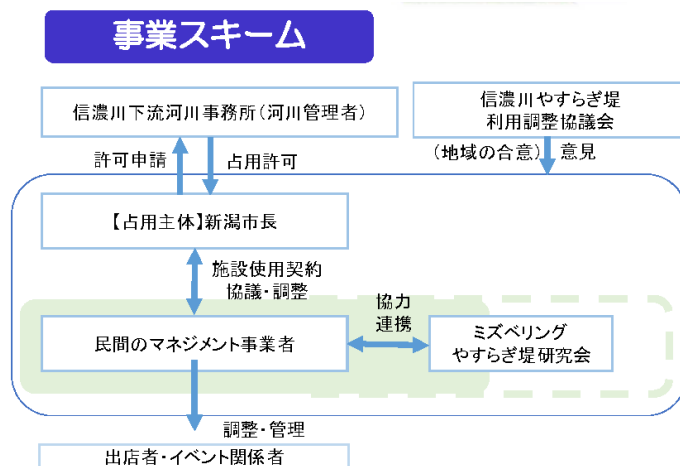


かわまちづくりの事例紹介

しなのがわ

4. 信濃川やすらぎ堤かわまちづくり(新潟県新潟市)

○都市・地域再生等利用区域の指定により、河川区域における民間事業者によるオープンカフェや売店等の店舗営業やイベントを開催。人々の関心が川周辺に集まるようになった。



利用者数

店舗数	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	11	14	12	7
	右岸：9 左岸：2	右岸：13 左岸：1	右岸：11 左岸：1	右岸：6 左岸：1

利用者数	H28(推計)	H29(推計)	H30(推計)	R1(推計)
7月	12,000人	13,000人	16,500人	17,100人
8月	10,000人	12,600人	12,300人	14,100人
9月	8,000人	8,700人	5,000人	9,100人
10月	—	—	1,500人	—
計	30,000人	34,300人	35,300人	40,300人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止